

# 一緒に料理 楽しく交流

## 東幸会 ふれあいカフェ初開催



一緒に焼きそばを調理する参加者

八戸市の社会福祉法人東幸会は2日、同市大久保の「大久保の里 地域交流ホール」で、地域住民と一緒に料理を作り、食事をする「ふれあいカフェ」を初めて開いた。地域の子どもと大人計20人が集まり、焼きそばを調理。出来たての料理を食べながら交流を楽しんだ。

(玉川那津美)

### 地域の子どもと大人20人

同ホールは、誰でも利用 できる交流スペースとして、今年7月にオープン。キットが整備されている。同会

が実施するふれあいカフェは、参加者に無料で食事を提供。共食の場をつくることを目的とし、全国で広がりを見せる子ども食堂のような機能を持つ。

この日は、同市の子ども食堂推進プロジェクトの代表・佐藤千恵子八戸学院大准教授とそのゼミ生のサポートの下、大人8人、子ども12人が参加した。

メニューは、薄焼き卵で焼きそばを巻いた「オム焼きそば」とサラダ、スープ、フルーツヨーグルトなど。参加者は、野菜を切って炒めて焼きそばを作った後、テーブルを囲んで温かい料理を味わった。

市立白銀南小5年の坂本夢実さん(11)は「初めて友達や地域の人と料理をした。すごく楽しかった」と笑顔を見せた。

同会は今後、月1回をめぐりに不定期で開催していく予定。